

5. 工藤寛之「震災のまえとあと2」

記録：工藤寛之

005_001 - 005_005

工藤寛之さんの撮影によるパネル「震災のまえとあと1」に続く、東北沿岸部を撮影した震災前後の定点観測写真。震災前の写真には、海岸公園の豊かな松林や、多くの船が停留する船溜などが写ります。失われた海辺の暮らしや風景、そこからの復興の記録。

ラウンジ展「定めた点から観て測る」（会期：2014年2月28日－4月13日）で展示されました。

記録／工藤寛之

撮影地／岩手県陸前高田市、宮城県気仙沼市・女川町・石巻市・仙台市・名取市

記録日／2006年4月11日-2013年8月9日

制作年／2014年

パネル枚数／30枚



パネル番号：005_001

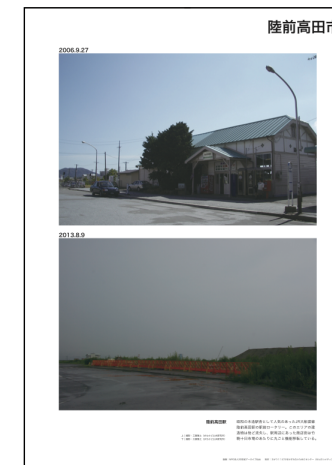
資料名：

陸前高田駅前商店街

記録日：2006年9月27日／
2013年8月9日

撮影：工藤寛之（まちかど公共研究所）

地域情報：岩手県陸前高田市



パネル番号：005_002

資料名：

陸前高田駅

記録日：2006年9月27日／
2013年8月9日

撮影：工藤寛之（まちかど公共研究所）

地域情報：岩手県陸前高田市

昭和の木造駅舎として人気のあったJR大船渡線陸前高田駅。このエリアはほとんど流失し、駅周辺にあった商店街は竹駒十日市場のあたりに丸ごと機能移転。



パネル番号：005_003

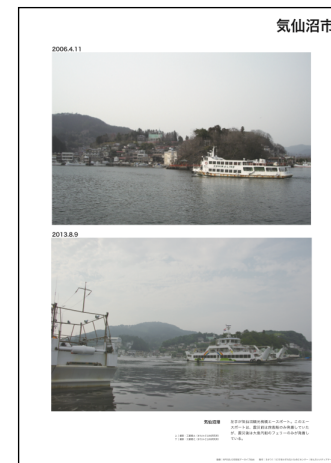
資料名：高田松原公園

記録日：2006年9月27日／
2013年8月9日

撮影：工藤寛之（まちかど公共研究所）

地域情報：岩手県陸前高田市

古川沼から海水浴場へと抜ける道を撮ったもの。震災前にあった松林や道、野球場など全てが水没してしまった。



パネル番号：005_004

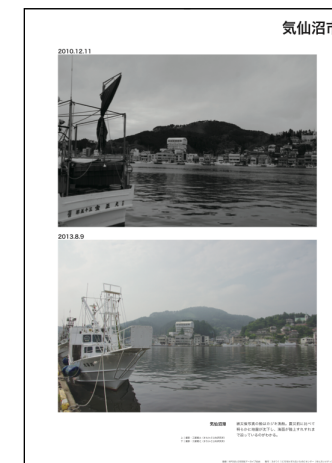
資料名：気仙沼港

記録日：2006年4月11日／
2013年8月9日

撮影：工藤寛之（まちかど公共研究所）

地域情報：宮城県気仙沼市

左手が気仙沼観光栈橋エースポート。このエースポートは、震災前は旅客船のみ発着していたが、震災後は大島汽船のフェリーのみが発着している。



パネル番号：005_005

資料名：気仙沼港

記録日：2010年12月11日／
2013年8月9日

撮影：工藤寛之（まちかど公共研究所）

地域情報：宮城県気仙沼市

被災後写真の船はカジキ漁船。震災前に比べて明らかに地盤が沈下し、海面が陸上すれすれまで迫っているのがわかる。

記録：工藤寛之

パネル番号：005_008
資料名：お魚いちば
記録日：2010年12月11日／
2013年8月9日
撮影：工藤寛之（まちかど
公共研究所）
地域情報：宮城県気仙沼市

「気仙沼プラザホテル」の下あたり。この「お魚いちば」は自力再建し、建物もほぼ元通りになった。

パネル番号：005_011
資料名：マリンパル女川
記録日：2007年1月30日／
2013年7月5日
撮影：工藤寛之（まちかど
公共研究所）
地域情報：宮城県女川町

2つの棟からなり、被災前の建物には1階に魚屋が軒を連ね、2階に直営のレストランがあった。仙台、山形からも多くのお客さんが集まる観光スポットだった。

パネル番号：005_007
資料名：気仙沼港出港岸壁
記録日：2010年12月11日／
2013年8月9日
撮影：工藤寛之（まちかど
公共研究所）
地域情報：宮城県気仙沼市

「お魚いちば」正面あたりの道路。震災前写真の左手、道路の縁石の海側のエリアが地盤沈下している。

パネル番号：005_010
資料名：大政寿司
記録日：2010年12月11日／
2013年8月9日
撮影：工藤寛之（まちかど
公共研究所）
地域情報：宮城県気仙沼市

鹿折地区、新浜1丁目交差点そば。バス停も若干移動している。フカヒレ寿司発祥の店・大政寿司は、2013年春に東八幡前（旧店舗に一番近い再建可能エリア）に移転再開した。

パネル番号：005_006
資料名：気仙沼港出港岸壁
記録日：2010年12月11日／
2013年8月9日
撮影：工藤寛之（まちかど
公共研究所）
地域情報：宮城県気仙沼市

震災後の写真は震災前の出
港岸壁から少し引いて撮影
したもの。震災後にかさ上
げされている様子がわか
る。

パネル番号：005_009
資料名：道の駅大谷海岸
記録日：2010年12月11日／
2013年8月9日
撮影：工藤寛之（まちかど
公共研究所）
地域情報：宮城県気仙沼市

ここは日本で一番海水浴場に近い駅として知られていた。「海に見えるレストラン」の看板が出ている建物がその駅舎。右手のトイレは半分だけ残っている。松林の手前に線路があった。

5. 工藤寛之「震災のまえとあと2」

記録：工藤寛之

005_012 - 005_017



パネル番号：005_012

資料名：指ヶ浜

記録日：2010年2月27日／
2013年7月5日

撮影：工藤寛之（まちかど公共研究所）

地域情報：宮城県女川町

被災して破壊された防波堤は修復が進み、漁船も戻りつつあるようだった。



パネル番号：005_013

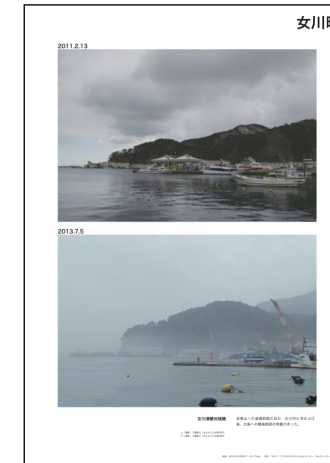
資料名：女川町中心部

記録日：2011年2月13日／
2013年7月5日

撮影：工藤寛之（まちかど公共研究所）

地域情報：宮城県女川町

観光桟橋のある岸壁の目の前にあった薬局。この並びには老舗の中華料理店などが並び、観光客で賑わう場所だった。現在は土地のかさ上げ工事が進みつつある。



パネル番号：005_014

資料名：女川港観光桟橋

記録日：2011年2月13日／
2013年7月5日

撮影：工藤寛之（まちかど公共研究所）

地域情報：宮城県女川町

金華山への直行航路のほか、女川沖に浮かぶ江島、出島への離島航路の発着があった。



パネル番号：005_015

資料名：雄勝湾

記録日：2007年10月21日／
2013年7月5日

撮影：工藤寛之（まちかど公共研究所）

地域情報：宮城県石巻市雄勝町



パネル番号：005_016

資料名：

雄勝地区中心部の風景

記録日：2007年10月21日／
2013年7月5日

撮影：工藤寛之（まちかど公共研究所）

地域情報：宮城県石巻市

旧雄勝総合支所を背に、国道交差点を望む。多数の民家、商店、銀行などが建ち並んでいたが、その風景と暮らしは全て震災で失われた。



パネル番号：005_017

資料名：大須浜の大須漁港

記録日：2007年10月21日／
2013年7月5日

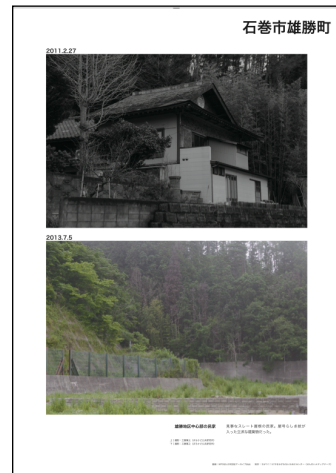
撮影：工藤寛之（まちかど公共研究所）

地域情報：宮城県石巻市雄勝町

船の数は減ったようだが、岸壁と作業場は再建された。

記録：工藤寛之

パネル番号：005_020
資料名：
雄勝地区水浜の集落
記録日：2011年2月27日／
2013年7月5日
撮影：工藤寛之（まちかど
公共研究所）
地域情報：宮城県石巻市雄
勝町



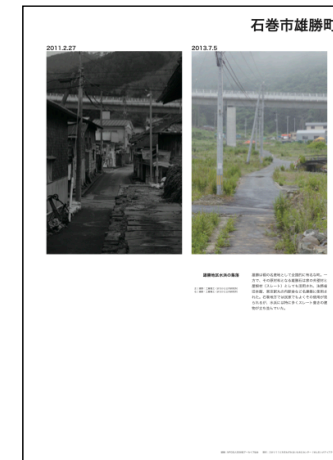
パネル番号：005_018
資料名：
雄勝地区中心部の民家
記録日：2011年2月27日／
2013年7月5日
撮影：工藤寛之（まちかど
公共研究所）
地域情報：
宮城県石巻市雄勝町

見事なスレート屋根の民家。屋号らしき紋が入った立派な建築物だった。



パネル番号：005_019
資料名：
雄勝地区水浜の集落
記録日：2011年2月27日／
2013年7月5日
撮影：工藤寛之（まちかど
公共研究所）
地域情報：
宮城県石巻市雄勝町

かつて海岸沿いには、鱗型の造形が美しい大型のスレート建築があった。

[illegible]

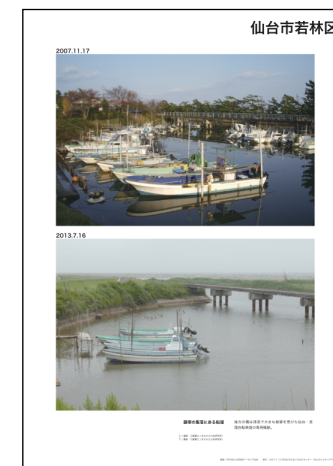
パネル番号：005_021
資料名：深沼海岸バス停
記録日：2007年5月7日／
2013年7月5日
撮影：工藤寛之（まちかど
公共研究所）
地域情報：仙台市若林区

深沼海岸は仙台市民にとって最も身近な海水浴場であり、仙台駅からバスが通っていた。バスを降りて松林を抜ければ、そこは海…夏の賑わいもバスの回転場も失われてしまった。



パネル番号：005_022
資料名：貞山橋の北側に架かる橋の上から南（仙台空港）を望む
記録日：2007年5月7日／2013年7月5日
撮影：工藤寛之（まちかど公共研究所）
地域情報：仙台市若林区

荒浜地区。整然と並ぶ美しい家並みが印象的な風景を作っていた。



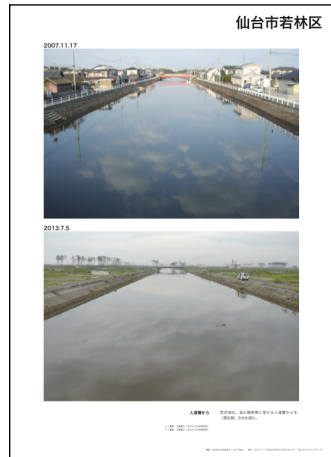
パネル番号：005_023
資料名：
藤塚の集落にある船溜
記録日：2007年11月17日／
2013年7月16日
撮影：工藤寛之（まちかど
公共研究所）
地域情報：仙台市若林区

後方の橋は津波で大きな被害を受けた仙台・亶理自転車道の専用橋跡。

5. 工藤寛之「震災のまえとあと2」

記録：工藤寛之

005_024 - 005_029



パネル番号：005_024

資料名：

人道橋から（北方向を望む）

記録日：2007年11月17日／
2013年7月5日

撮影：工藤寛之（まちかど
公共研究所）

地域情報：仙台市若林区

荒浜地区。貞山橋南側に架
かる人道橋から北（蒲生
側）方向を望む。



パネル番号：005_025

資料名：

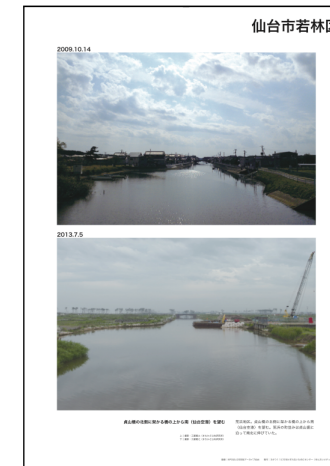
人道橋から（南方向を望む）

記録日：2007年11月17日／
2013年7月5日

撮影：工藤寛之（まちかど
公共研究所）

地域情報：仙台市若林区

荒浜地区。貞山橋南側に架
かる人道橋から南（仙台空
港）方向を望む。



パネル番号：005_026

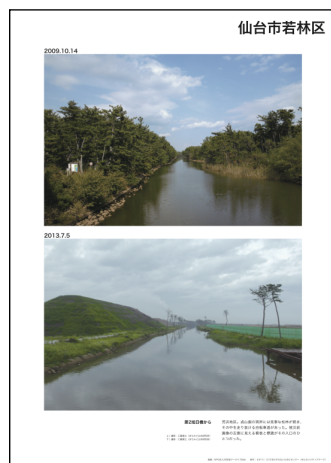
資料名：貞山橋の北側に架
かる橋の上から南（仙台空
港）を望む

記録日：2009年10月14日／
2013年7月5日

撮影：工藤寛之（まちかど
公共研究所）

地域情報：仙台市若林区

荒浜地区。貞山橋の北側に
架かる橋の上から南（仙台
空港）を望む。荒浜の町並
みは貞山堀に沿って南北に
伸びていた。



パネル番号：005_027

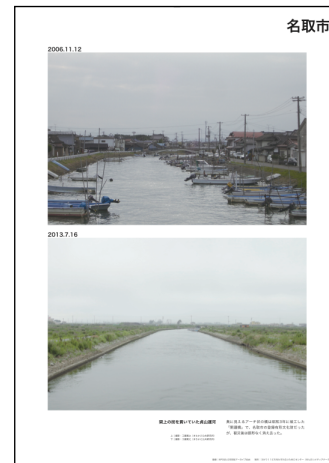
資料名：第2旭日橋から

記録日：2009年10月14日／
2013年7月5日

撮影：工藤寛之（まちかど
公共研究所）

地域情報：仙台市若林区

荒浜地区。貞山堀の両岸に
は見事な松林が続き、その
中を走り抜ける自転車道が
あった。被災前が追うの左
側に見える看板と標識がそ
の入口のひとつだった。



パネル番号：005_028

資料名：関上の街を貫いて
いた貞山運河

記録日：2006年11月12日／
2013年7月16日

撮影：工藤寛之（まちかど
公共研究所）

地域情報：名取市

奥に見えるアーチ状の橋は
昭和3年に竣工した「開運
橋」で、名取市の登録有形
文化財だったが、被災後は
跡形なく消え去った。



パネル番号：005_029

資料名：名取川河口近くに
架かる橋の上から南（仙台
空港）方向を望む

記録日：2006年11月12日／
2011年10月12日

撮影：工藤寛之（まちかど
公共研究所）

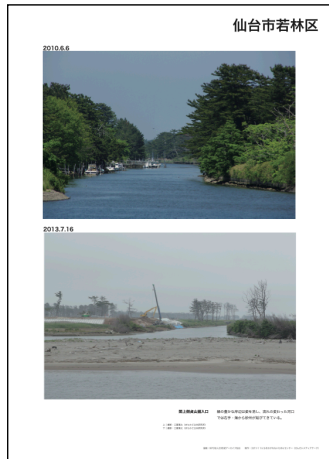
地域情報：宮城県名取市

名取市関上地区。貞山堀に
係留された漁船の数々に、
藩政期から五十集（いさ
ば）として栄えた港町の風
情が宿っていた。

5. 工藤寛之「震災のまえとあと2」

記録：工藤寛之

005_030



パネル番号：005_030

資料名：

閑上側貞山堀入口

記録日：2007年11月17日／

2013年7月16日

撮影：工藤寛之（まちかど
公共研究所）

地域情報：宮城県名取市

緑の豊かな岸边は姿を消し、流れの変わった河口では右手・海から砂州が延びてきている。